

2020年8月4日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- エゼキエル38章の戦争に、どれほど近づいているか -

[YouTube:2020年8月4日中東時事アップデート](#)

シャローム、皆さん、アミール・ツアルファティです。

予定よりも早くなったのには理由があって、その理由を、すぐにお話しします。まず、これは昨日のアップデートの代わりに、残念ながら、ワケがあってキャンセルせざるを得なかったのですが、良い理由です。私がアップデートをしようとしていたホテルのベランダの真下で、結婚式が行われていたのです。皆さんには本当にエルサレムを見て欲しくて、私は昨夜、そこにいたのです。嘆きの壁を見ていただきたくて。エルサレムの街もそうです。しかし、延期せざるを得ませんでした。本来なら、今から12分後に始まるはずだったんですが、今すぐライブを始めたかった理由があるのです。皆さん、お見せしたいものがあります。今から数分前のことです。見てください。ほんの数分前のベイルート、レバノンです。それでも足りない場合は、皆さん、この角度で見てみてください。それでも足りないとしたら、これはまた別の動画です。



さて、「ベイルートで何が起こったのか?」とお思いでしたら、数分前にベイルート国際空港の隣で大爆発がありました。話を戻しますが、それには理由があります。…あそこには、ある物があって、ちなみに数か月前にそのことをご報告しました。その前に、お祈りをしてから、中東の最新情報に行きたいと思います。

天のお父様、私たちは、今夜イスラエルのガリラヤからあなたの御前に来ています。そして、世界中の人々がこれを見てると確信しています。そして、私たちはあなたの御声を聞きたいのです。お父様、私たちが時と季節があることを知り、それに注意する事を、あなたは望んでおられます。お父様、私たちの周りに何があり、何が起きているのか、またその理由を理解するために、あなたの知恵を求めます。また、この狂ったような混沌と不法の時代に、すべての理解を超えたあなたの平安を求めます。私たちはあなたに感謝し、あなたを祝福します。イスラエルの聖なる方、ナザレのイエシュア、私たちのメシアの御名によって、お祈りします。アーメン。アーメン!

そして再び、皆さん、イスラエルのガリラヤからシャローム。こんばんは。レバノンからの速報があったため、思ったよりも早くこのアップデートを開始しました。数分前に巨大な爆発が起きて、国中を揺るがしました。見逃した人のために、もう一度お見せします。別の角度から、ご覧いただきます。ご覧ください。レバノンの大爆発です。これは1つの動画です。次のはもっと、もっと、もっと…。そうですね…。これをご覧ください。これについて、レバノン当局が、即座に花火の工場だと言いました。では、質問させていただきます。わざわざ、空港のすぐそばに花火の工場を置く人がいるのでしょうか? 恐らく皆さんは、それは無い、と思っているでしょう。それが真実でないだけではありません。皆さん。このチャンネルを長い間ご覧になって来た人ならば、ご存知でしょう。おそらく2年前に、ベンジャミン・ネタニヤフ首相が基本的に、全世界の前で暴露したとき…レバノンのヒズボラ組織が、…これは、レバノンのイランの代理人で、彼らは、国際空港の複合施設内に巨大な倉庫を持っていて、そこで、精密な兵器用のミサイルを製造しています。つまり、彼らは、簡単なロケットに「誘導アダプター」と呼ばれるものを搭載して、非常にスマートで、正確なミサイルにしているのです。もし、



簡単なロケットが、詳しくは知りませんが、標的の200~300ヤード以内に落下するとすれば、スマート武器なら標的の5ヤード以内です。つまり、目標からズレる事は、ほぼありません。つまり、確実に標的を破壊するという事です。そしてこれは恐らく…こういう発言をする時、私は、非常に慎重にしますが、これは、おそらく、それに関連するものです。何が起きたか、今は分かりませんが、一つだけ確かなのは、レバ



これをご覧ください。

ノンは、混沌の最中にあります。この爆発がなかったとしても、レバノンの夜の様子を見てください。お分かりいただけるでしょう。これをご覧ください。街路灯、信号機、何もありません。電気がありません。お金が無いのです。1日2時間だけ電気が通っていて、残りの時間はまさに、こんな感じです。人々が運転していて、何もありません。私が、これをお見せしている理由は、皆さんが理解するためです。ヒズボラは、イスラエルに対して、同胞の死の復讐をしたとか、いろいろと言っていますが、今、ヒズボラは、シリアの工作員の死の復讐よりも、ずっと大きな問題を抱えています。ヒズボラは、この時点で、レバノンの一部で、非常に大きなストレスにさらされています。それは、イスラエルーイランの問題とは何の関係もありません。全ては、レバノンの金融危機とシリアのアサド政権と取引をする者に課される米国の制裁が、レバノン政府に大きな影響を与えているためです。ヒズボラがしている事の多くは、アサド政権を助け、シリア紛争を助ける事ですから。皆さん、今、レバノン人は、ヒズボラが自分たちの問題であることを理解しています。ヒズボラが力を持ち、ロケット弾を持ち、ミサイルを持ち、武器を持っている限り、ヒズボラは、レバノンの問題を解決する世界の障害になると、誰もが言っています。レバノン人は、それを理解しています。今日も、レバノンで別のデモがありました。レバノンでは、多くの人々が負傷しました。レバノンは混沌としています。レバノンは、文字通り、崩壊しつつあります。シリアとは、また違った形で。

シリアの場合は内戦でももちろん、シリアは戦争が始まって、ほぼ11年目に突入しています。シリア北部のイドリブ市では、さらに大規模な攻撃の準備が進んでいます。シリア軍が、軍隊を持ち込んでいる事が分かっています。噂では、エジプトが150人の兵士を送って、トルコと戦っているシリア人を援護しているようです。だから… これ、聞いてください。トルコとエジプトの緊張関係が、今や、シリアの地に移動しているのです。それでも足りなければ、ロシア、イラン、トルコ、皆が、シリア北部に数百、時には数千の軍隊を、送り込んでいて、彼らが武器を持たなければ、さらなる、ひどい流血が起きるでしょう。それが、レバノンとシリア。

私が、この2つの国を挙げた理由は、非常に単純です。今日のテーマは「エゼキエル38戦争に、どれほど近いのか？」皆さん、どうか理解してください。イスラエルの隣国は4つで、そのうちの2つはほとんど存在していません。そして他の2国は、現時点でイスラエルの友好国で、完全にイスラエルに依存しています。実際、エジプトとヨルダンに対しては、イスラエルのガスが、イスラエル人よりも優遇されています。我々は、天然ガスをイスラエル国民が買うよりも安い値段で、エジプトやヨルダンに販売しているのです。その事から、彼らが、イスラエルに完全に依存していることが分かるでしょう。皆さん、ISISがシナイのある地域を占領した瞬間、イスラエル空軍が空中から攻撃し、エジプト軍が地上から攻撃しています。想像できますか？1948年、1967年、1973年にイスラエルと戦ったイスラエルの最大の敵が、現在、彼らの領土からISISを一掃するために、イスラエル空軍の支援を受けています。だから、皆さんは理解する必要があります。直接、隣接している国、私は、それを「第一の層」と呼びますが、イスラエル周辺の第一の層は、完全に崩壊しているか、もしくは、イスラエルの友好国であるだけでなく、イスラエルに依存しています。だからこそ、私は言っているのです。皆さん、今はエゼキエル書38章が語っている時代で、詩篇83篇が語っている時代は過ぎ去りました。レバノン、シリア、エジプト、ヨルダン、パレスチナ人、イラクが、イスラエルに攻めて来た時代は、1948年です。1967年も、その一部かもしれませんが、それまでです。1973年以降、ヨルダンは、このゲームから外れていません。その後、エジプトもゲームから外れて、今度はレバノンで起こっている事を見てください。深刻です。



さて皆さん、今は別のゲームです。イスラエルを脅かしているのは、もはや、イスラエルと隣接する国ではありません。現在は、第2層です。今は、ロシア、トルコ、イラン、リビアとスーダンです。この5か国はいずれも、イスラエルと国境を接していません。これらは、私たちが「第2層の国々」と呼んでいるものです。そして、彼らが聖書に書かれているようなことをするためには、イスラエルは、地域の大国、富国強兵になる必要があったのです。そして、これが新しいオペラ、新しい、新現実です。では、現在、私たちはどこに立っているのでしょうか？まず、もう一つ言わせてください。昨夜、イスラエルが、ゴラン高原のシリア側の軍事前哨基地を攻撃しました。なぜでしょう？なぜなら、前夜、4人の男が、シリア側のイスラエルのフェンスに近づき、そこに爆発物を仕掛けようとしたからです。この人たちは、イスラエルが見ていることすら知らないとは、想像が付きません。我々は、文字通り、一部始終を見ました。私たちは、彼らが歩いているのを見て、カバンを持っているのを見て、物を引っ張り出そうとしているのを見ました。そこにいた、イスラエルの特殊作戦部隊は、もちろん全員を殺し、それで終わりです。しかし、ここから北の国境について、少しお話したいと思います。また、これは今夜のテーマにとっても、重要なことです。始まりは、10年前、シリア軍が国境を越えた事で、その時、我々は、シリアがヒズボラを迎えている事を知っていました。それから、ヒズボラの司令官が来て、シリア国境からイスラエルを見ているのを見るようになりました。そして、もちろん内戦が始まり、信じられないかもしれませんが、2011年に、シリアでの戦争が始まった時、それは、シリア南部の都市ダラアから始まり、そこから北上していきました。そして、そうになると、問題があるのです。シリアでは、支配者一族は、実際には少数派で、アラウィー派はシーア派の一派です。そして何があったかという、スンニ派が、シーア派に反発し始め、そして今や、スンニ派がシーア派と戦っていて、もはやシリアだけの問題ではなく、イスラム内部の問題です。そして、ロシアが、ほんの数年前に参戦しましたが、ロシアは問題を抱えていました。何が問題だったのでしょうか？ロシアには、ISISとスンニ派の反乱軍と戦うためにシーア派が必要でした。しかしロシアは、また、シーア派だけに頼ることは出来ないことを理解していました。なぜなら、シーア派はイランの援助を受けていて、彼ら自身の計画、彼ら自身の目的を持っているからです。彼らに対して、イスラエルは非常に神経を尖らせ、イスラエルは出て行って、爆撃をしかけ、イランの代理人を攻撃します。そして、ロシアは理解します。自分たちがシーア派を支援している限り、ここに安定はない。そこでロシアは、非常に巧妙な方法である事を行いました。ロシアは、自分たちは本当にシリアの軍隊を信頼できない事を見て、ロシアは、シリア軍から将軍を取り、シリアで、別の軍隊を作ったのです。ちなみに、彼らはそれを”第5支柱”と呼んでおり、それは現在、新しい軍事部隊、軍隊になっています。そして現在、ロシアの司令官、ロシアの憲兵、ロシアの訓練を受けたシリア軍が、イスラエルとの国境沿いにいます。皆さん、私が今言った事を、聞きましたか？ロシアの訓練を受けた、地元シリア人の軍事部隊が、今、国境沿いの陣地を取っているのです。そして、ちなみに現時点では、私たちにあって、彼らは、ヒズボラよりも、シーア派よりも、イランと関係がある者よりも、はるかにマシです。ですから、こんにち、私たちが目にしているのは、ロシアが考える限り、ロシアは、文字通り、国境にいる許可を、イスラエルから得ているのです。皆さん、その意味が分かりますか？誰もが、ロシアの侵略の話をしていますが、ロシアは、すでに国境にいます。間違っただけではありません。こんにち、イスラエルの軍事諜報は、無線システムでシリアの状況を聞いている時、ロシア語が聞こえるのです。

さて、ここからは、皆さんに役立つ事をいくつかご紹介します。ちなみに、私が言いたいのはこれです。これです。ロシアが支援した民兵が、シリアのゴラン高原を占領しています。私が皆さんに言いたいのは、これです。これが新たに作られた軍隊で、シーア派や、元々のアサド軍は、今、これが気に入りません。皆さん、理解してください。ロシアが国境にいます。これを理解しておいてください。さて、エゼキエル38の残りの役者はどうなっているのか、理解してみましょう。なぜなら、聖書は、それらの国の正体だけでなく、この全貌での彼らの役割についても明らかにしていますから。では、これをご覧ください。今から、基本的には…そうですね、ではリビアと…トルコ、リビアとスーダンの繋がりについて話しましょう。良いですね？これを見て…いや、ごめんなさい。これは違います。これでもありません…。本当にごめんなさい。これも違う…。今すぐお見せしましょう。ここにありました。これをご覧ください。「リビアは、アンカラ（トルコ）の計画の活動拠点…」どこで？「スー





ダンとその向こう。」皆さんは、恐らく思っているでしょう。「ちょっと待って。エゼキエルは、トルコとスーダンとリビアについて語っているが、どう繋がっているんだ？」間違っははいけません。エルドアンは、オスマン帝国の復活を望んでいます。それは、誰もが知っていることです。また、間違いのないようにお願いします。エルドアンは現在、リビアでの戦争、イラクでの戦争、シリアでの戦争に従事しており、アルメニアとの戦争でアゼルバイジャンに協力

力しています。そして、彼の目はスーダンに属する島にも向いています。私が言っていることが分かるように、その島をお見せしましょう。皆さん、これをご覧ください。スーダンのスワキン島です。スーダンの地図の左を見てください。首都ハルツームが見えますね。しかし、その青い線の紅海を見てください。それは紅海です。スワキン島が見えるでしょう。また、それが、サウジアラビアの真向かいにあることも分かります。実際、メッカとメディナの真向かいです。エルドアン大統領が狙っているのは、これです。彼は、目の前に行きたいのです。そうすれば、時が来て、彼がそこを乗っ取り、カリフ（首長）となって、スンニ派世界の指導者になりたければ、ただ、この小さな海の片隅を渡って、乗っ取るだけです。ちなみに、これはイランも望んでいることです。イランはサウジアラビアを乗っ取り、メッカとメディナを乗っ取って、シーア派が主導する、カリフ制イスラム界を宣言したいのです。だから、イランはサウジアラビアに危害を加えたくて、トルコも、サウジアラビアに危害を加えたい。そして、エジプトは、その間に挟まれ、どちらも良くないことを、理解しています。そのため、サウジアラビアもエジプトも、今の時点では、イスラエルと親友なのです。唯一、イスラエルだけ



が、この2つの国に強く敵対している国だからです。という事で、このスワキン島というものが、ご理解いただけただけでしょうか。この島の、もう少し良い写真を見たいなら…。これだけです。基本的に。皆さん、それは沖合いにあり、サウジアラビアの真向かいです。そして皆さん、理解する必要があります。エルドアン大統領は、オスマン帝国を復活させたいと考えています。実は、ここに動画を入れようとしたのです。お見せしたいのですが…。お見せでき

ます。昨日、トルコの内務大臣が演説していて…。軍事司令官の前での非公開演説ですが、私は、それを手に入れました。これが、なかなか面白くて、彼が、彼らと共有したことをお伝えしたいと思います。彼が、彼らに言ったことをご覧ください。彼は、次のように言いました。彼は人々にこのように言いました。「トルコは世界を支配するだろう。トルコは歴史を刻んでいる最中で、神は、エルドアン大統領の政府と共におられる。また彼は、近く予想外の展開を予測している。」もう一度言った方が良いですか？トルコ内務大臣が、軍司令官の非公開演説で、昨日言いました。「諸君、聞きなさい。予期せぬ事態が予想される。」そして彼は言いました。「我々は全世界を支配するつもりだ。我々は、すべてをコントロールしようとしており、また我々は歴史を刻んでいる。」面白くないですか？なぜなら、彼らは、歴史を書く必要はありません。この本（聖書）に、すべて書かれています。彼らに、エゼキエル38章と39章を全部読み聞かせてあげたいですね。なぜなら、彼らに対する神のご計画を彼らが知っていれば、あんなに生意気で、高慢で傲慢な態度をとることはないでしょうから。これは、非常に興味深いことです。

お伝えしたいのは…。もう理解出来ましたね。イランには、多くの問題があります。ところで、3日前にタブリーズの街にあるイラン革命防衛隊の軍事キャンプ内で、さらに一連の爆発があって、武器や弾薬の倉庫が次々と爆発しました。彼らは、本当にどうしてよいのか分かりません。今、イランは大変なことになっています。トルコは、独自の不正行為をしています。リビアやスーダンは、トルコがサウジアラビアにたどり着くための道具に過ぎないことを、すでに理解しています。ロシアが、この全てから自分たちの目的、つまりガスと石油、そして、自分たちの艦隊が入港出来る温水の港を狙っている事を、すでに理解しています。この役者たちには、それぞれのアジェンダがあることをすでに理解しています。そして今、私が信じていることをお伝えしたいと思います。ちなみに、イランに関して…。「イランが発言。『核施設の爆発後、世界



は、イスラエルに対応しなければならない。』言い換えれば、イランは自分たちの国で起こっていることを、すべてイスラエルの責任にしているのです。ですから分かりますね？ほぼ、全てのものが揃っています。さて、よく聞いてください。中東での戦争は、あんな風に、まともな理由なしには起こりえません。いいですか？今でさえ、リビアにはトルコ軍がいて、国境を越えて、エジプト人が準備をしていて、リビア軍がいます。しかし、この火を起こすにはマツ

チが必要です。彼らは、ただ戦いを始めることはできません。何かが起こらなければなりません。そして、多くの方が私に尋ねています。「アミールさん、あなたはエゼキエルについて教える度、戦争の話、スーダンやリビアの話、ロシアの話やトルコやイランの話をしませんが、しかし彼らがイスラエルに敵対するには、一体、何が起こるのでしょうか。なぜなら、今、彼らは皆、互いに戦っています。」それから、イスラエルの隣にはシリアがあることを忘れないでください。シリアでは、シリアの首都はダマスカスです。ご存知の通り、ダマスカスは、世界で最も古くから人が住み続けている都市であると広く信じられています。一度も破壊されたことがありません。なぜ私はそんなことを言っているのか？私が信じるに、このパズルの中で欠けている1つのピース。最終的にエゼキエル38章を実現に至らせるのは、ダマスカスに起こる事です。イザヤ17:1は言っています。



「ダマスコについての宣告。見よ…ダマスコは取り去られて町でなくなり、廃墟となる。」（イザヤ17:1）

ダマスカスは、完全に破壊されます。明らかに、明らかに、イザヤ書17章は決して成就していません。ダマスカスは、今まで一度も破壊されたことがなく、継続して人が居住している、最古の都市です。イザヤは、未来について語っています。イザヤ書46:9-10に書いてあることをご存じですか？

「わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。わたしは後のことを初めから告げ、まだなされていないことを、昔から告げ…」（イザヤ46:9-10）

イザヤ書46章は…失礼しました。17章は、まだ起こっていない出来事について話しています。ですから、もし皆さんが私に尋ねるならば、「なぜイスラエルは、ダマスカスを爆撃しているのか？」まず第一に、我々は、ダマスカスを、ほぼ一日おきに空爆していますが、我々の標的は、イランの資産がある特定の場所です。そしてご覧の通り、ロシアは、それを許可しています。彼らも、イランがそこにいるのが気に入らないからです。しかし、第二次湾岸戦争、9.11の直後に、ジョージ・W・ブッシュが行った戦争を思い出してください。イラクで始まり、最終的にサダム・フセインを倒した戦争です。皆さんに知っておいてほしいのは、当時、アメリカが、イラクに攻め込む理由として安保理を納得させたことの一つは、イスラエルが提供した映像の情報で、トラックに搭載された大量破壊兵器として知られていたもの、もしくは、また少なくともその一部、その材料が、はるばるイラクからシリアに運ばれていたのです。さて、なぜ私は、ここで少し笑っているのでしょうか？それは、アメリカは攻め込んで行ったが何も見つからなかったと、全世界は説き伏せられているのです。そして、それはものすごい嘘であったと思います。なぜでしょう？お見せしたいものがあります。きっと、聞いたことないでしょう。「米国の極秘任務は、イラクからのウランを保有している」これは、2008年です。そして皆さんに言っておきますが、それは戦争が始まってから、ずっと後、大量破壊兵器など存在しないと誰もが説き伏せられた後です。サダム・フセインが、核兵器を作る途中であったことを理解していないのです。そして、はっきりとわかるように、こう書かれています。「サダム・フセインの核計画の最後の主要な残骸は、濃縮天然ウランの膨大な備蓄で…、土曜日にカナダの港に到着して、米国の秘密作戦を完了した。その中には、バグダッドからの2週間の空輸と、2つの海を横断する船の航海を経ている。」だから、悪い物は何も見つかっていな



いとは言わせませんよ。しかし、もう一つお伝えしたい事があります。これを見て欲しいと思います。「シリアは、サダムから化学兵器を受け取ったのか？」皆さん、サダムが、彼の大量破壊兵器を備蓄していた頃をお見せします。彼は、どこからそれを手に入れたと思いますか？一つ、お伝えします。彼は、はるばるシリア経由で手に入れたのです。つまり、地中海へ出入り出来たシリア政権は、海から入るものを全てシリアへ持ち込み、シリアから、



はるばるイラクへ持って行くことを許していたのです。そして、それが暴露されるというイラクにとって大きな、大きな危険となった途端、彼らは、それを逆にして、それをシリアに送り返しました。お読みします。

「シリアが化学兵器を保有していることを月曜日に認めたことで、アメリカ史上最大の諜報活動の失敗の一つ、イラクには大量破壊兵器は存在しないという物議を醸した説が復活した。」分かりますか？それで、大量破壊兵器がなかったと彼らは考えている？もちろんありました。化学兵器も生物兵器もあって、彼は核を作っていました。しかし、彼が逮捕され、イラクがアメリカや連合軍に侵略され始めた時、それらのトラックが、今度は、イラクからシリアに引き返して、これらの痕跡をすべて消している事に、我々は気付きました。アメリカは、本当に攻撃する必要はなかったと見せるためです。

皆さん、こんにちのシリア、恐らくダマスカスは、特に化学兵器や生物兵器が最も集中している場所の一つだと私は信じています。そして、私が、これに言及している理由は、何らかの理由で、何らかの要素、ダマスカスに多くいる様々な勢力が、もし、彼らが追い詰められたと感じ、そして彼らが、“裁きの日の武器”を使い、何らかの形で、その特定のものをイスラエルに向ければ、もちろん、イスラエルは優れた諜報ちようほうを持っていますから、イスラエルは、ダマスカスを破壊する以外に選択肢がなくなります。さて、これは単なる理論ですよ？ちなみに、これが起こると言っているのではありません。この可能性があると述べているのです。しかし、確実に起こることは…、聖書が伝えていますが。それは、ダマスカスが破壊されなければならないということです。ダマスカスは破壊されます。イスラエルであろうとなかろうと、ダマスカスは破壊されます。ちなみに、イザヤ17：1は、誰がダマスカスを滅ぼすかについては述べていません。しかし、ダマスカスが破壊されることは分かっています。ところで、首都の名前を出す時は、実際には国全体の事を言っているという学者もいます。その場合、シリアは、すでに崩壊しています。しかし、ここのダマスカスはダマスカス市であるような気がします。そしてそれは、破壊されなければなりません。今は、内戦のせいで、この時点で都市の約3分の1が、破壊されています。しかし、私が信じるに、もし、イスラエルの大規模な攻撃、もしくは、“先制攻撃”が必要になれば、おそらく、イスラエルから来るでしょう。なぜなら、イスラエルは、あちらで唯一、イスラム要因が共通の敵とする国ですから。皆さん、理解してください。ダマスカスから目を離さないでください。そうです、イランの事情、トルコの事情、ロシアの事情、全てがあそこにあります。これらの国は、すべて準備ができています。ご覧のとおり、スーダンとリビアはすでにゲームに参加しています。彼らはすでに、再びオスマン帝国になろうとするトルコの動きの一部になっています。ロシアは、すでに準備ができています。シリア国内にだけでなく、我々との国境にいます。そしてイランは、ここ数週間で起きている事に対する復讐の時を待っていることが、すでに見えています。謎の爆発と、そのダメージで、彼らの核計画は2年前に逆戻りしました。皆さん、ダマスカスから目を離さないでください。

それから皆さん、もう一つお伝えします。もう一つ、考えられる事。さて、私はとても用心して、これを行っています。とても慎重に言います。実際、言っておきますが、これは、私が啓示や何かを受けたものではありません。でも言っておきますが、世界のすべての負の要素、特に中東のすべての目が、今、ワシントンDCこんがんに向いています。全ての極悪人が、トランプが負けることを祈っています。彼らは、彼が消えて欲しいと懇願しているのです。トランプは、彼らにとって最悪の悪夢ですから。そして、皆さんにお知らせしたいのは、仮に、トランプ大統領が再選され、さらに恐ろしい4年間は彼らを待っていることを、彼らが理解した場合、その時、もしかしたら彼らは行動を起こすかもしれません。彼らには失うものは、もう何もありませんから。とにかく私が言いたいのは…、ほら、私には誰が勝つのか分かりません。私は預言者ではありません。私は、(ノン・プロフェット・オーガニゼーション) “非営利(預言)団体”の者です。私はアメリカ国

民、サイレントマジョリティーが正しいことをして、再びトランプ氏に投票してくれることを信じ、祈っています。しかし、私が言いたいのは、皆さん、イランがもう後がない感じ、そしてトルコとロシア、そしてもちろん中国が裏で介入しています。ちなみに、中国は間違いなく、中東にも進出しようとしています。アメリカが、自分たちのリズムに合わせて踊っていないと彼ら全員が感じれば、彼らは、イスラエルに攻めて来るでしょう。イスラエルは、中東におけるアメリカの延長です。それから、1つ分かっていることがあります。私たちが生き残るのに、アメリカは本当に必要ありません。なぜなら、聖書が告げています。エゼキエルの戦争でイスラエルを助けに来るのは、外部の軍隊ではありません。彼が、あと4年大統領を務められるように、私が皆さんにトランプに投票するように言うのは、彼がイスラエルを助けに来るからではありません。それは、他でもなく、現在のアメリカにトランプ大統領が、もう4年必要だからです。神が、ご介入してください。エゼキエル戦争で私たちが経験する勝利は、一流の軍隊や、軍事的に優位とは何の関係もありません。違います。地震、強風、竜巻のようなものがあり、天から雷が降ります。それは軍事的なものではなく、自然災害や自然活動といった、非常に大規模な神のご介入です。ですから、非常に面白いものを見ることとなります。そして、言わせてもらおうと、この戦争の直前かこの真っ只中に、教会の携挙が起こるのではないかと、私はいつも思っています。最後まで見る事になるとは思いません。よく分かりませんが…。なぜなら、見ての通り、その戦争の余波で、明らかに7年間の平和条約が、ある男によってもたらされます。そして我々は、その男を見る事はないのです。その悪の者、不法の者、破滅の子、獣、反キリスト。繰り返しますが、引き止める者が取り去られない限り、彼が登場する事はできません。ですから…。締めくくりに、皆さんに思い出していただきたいと思います。もし、中東の要素が全てあそこにあるなら、もし、イスラエルが、ダマスカスを破壊するのに十分な理由があるなら…。そして我々には、その理由がありません。そして、それがマッチとなって戦争に火を付け、そしてその戦争の後、反キリストが平和を導入するなら、いつも言うように、11月中旬にクリスマスの電飾が見えると、感謝祭が近いことが分かります。ですから、反キリストの台頭につながる出来事を告げる、すべてのものを見たとき、携挙に近い事が分かります。

そして、最後にこれで締めくくります。まとめです。皆さん全員を励ましたいと思います。多くの人々が、ラッパの祭りを、携挙の日であるかのように見えています。すべての例祭が、その日に成就しているので、これも、その秋の例祭に成就されるはずだと本当に信じています。皆さん、思い出してください。預言の時系列の中の、すべての出来事の中で、その日、その時を誰も知らない出来事は、教会の携挙です。誰も知りません。ほら、患難はよく知られており、よく説明された出来事です。黙示録を読み、ダニエル書を読み、ホセア書の一部、ヨエル書の一部、エレミヤの一部を読めば、大患難の全体像を理解します。それは、平和条約から始まることを知っています。誰がそれを始めるのかも、知っています。反キリストが、本性を現すまでの日数を正確に知っています。イスラエルの残りの者たちが、何日間、砂漠に隠れ、それから、どのようにして、イエスが彼らを連れ戻して救われるかを知っています。私たちは日、月、年、出来事を知っています。私たちは、すべてを知っています。携挙とは、その瞬間、瞬間^{また}間に、聖書には「神のラッパで」と書かれています。そして今お伝えしたいのは、全てのラッパがただ一つとか、あれだというのではなく、第一コリント15章と第一テサロニケ4章にある神のラッパ。これは、聖徒の天への到着を告げるラッパだと信じています。これは私たちのラッパで、世は聞きません。間違っ^たてはいけません。携挙は起こります。そして世界は、それに気づかないでしょう。彼らは、それについての説明を探そうとさえするかも知れません。彼らは、それを見ないから。“壮大な出発”は、ありません。皆が見ている中で、飛び^つつわけではありません。私たちは「ふっ」と消えてしまいます。二人の男が畑^{うす}にいて、二人の女が臼^ひを挽いて、一人は取られ、一人は残されます。(マタイ24:40~41参照) ボンッ! 栄光の体を受け取った瞬間、私たちは変えられ、空中で、主にお会いすることになるのです。それは、第一テサロニケ4章です。そのラッパは、世には聞こえません。私たちはそれを理解します。それは、天国からの私たちのためのもので、私たちを上^に迎えるためのものですから。もう一つのラッパは、大患難の後に、私たちがイエスとともに帰ってくる時のラッパで、これは、世は聞きます。世界はラッパの音を聞くでしょう。世界は、全ての場所で、主を目にします。世は主を目撃し、主を耳にします。これは、イエスと教会の壮大な到来です。教会の携挙ではありません。主は、イスラエルを救うために来るのです。覚えていますか? だから、教会を救うためのラッパが天で聞かれるのは、天国で私たちを迎えるためです。ラッパは、常に到着を知らせるために使われます。私たちを連れて行くのです。そして、イスラエルを救うラッパは、私たちが戻って来る時で、それがラッパの祭りになると信

じています。そして、そこから大贖罪日が成就するのだと信じています。大贖罪日は、イスラエルが悔い改める日です。そして、私たちが千年王国に入る時、仮庵の祭りの成就です。ですから、成就していない残りの3つの祭りは、最初の四つの祭りが次々と成就されたのと同じように、イエスの再臨の時に成就されるのです。だから、私たちがあちらに上がるためのラッパは、主が望まれるときに、主が発表されます。誰も知りません。聖書には、御使いでさえもイエスさえも知らないと書かれています。聖書には、マタイ24章、ルカ21章、マルコ13章に、「御子も知らない」と書かれています。だから私の言いたいことは、非常にはつきりしています。準備してください。すべての兆候があります。COVID-19で行き詰まっているのも分かっています。そして考えています。「これは…」。

ほら、皆さん、思い出してください。100年ほど前…実際、ちょうど100年前です。スペイン風邪が流行りました。スペイン風邪が3波に分かれてやって来て、COVIDよりも多くの方が死にました。そして、それが第一次世界大戦の真っ只中であって、大恐慌になって、第二次世界大戦になったのです。おそらく当時、人々は、これは大患難だと思ったのではないかと思います。そして、ロシアから核の脅威が来て、アメリカ人は、ある日目を覚まし、おそらく多くのアメリカ人が思ったでしょう。今まさに、これは大患難だ！でもね、私たちが覚えておくべきこと。COVID-19は、大患難ではありません。反キリストは、まだいません。平和条約は、まだありません。皆さんは物事を混同せず、神のみことばを正しく解き明かすべきです。混同してはいけません。結論を急がないでください。獣のしるし！反キリスト！大患難！いいえ。そうではありません。大患難が始まるためには、2つのことが起こらなければなりません。引き止める者が取り除かれ、反キリストが介入しなければなりません。そして彼は、和平計画を導入し、ユダヤ人がエルサレムに神殿を建てることを認めて、その同じ神殿で、3年半後、自分が神であると宣言します。これは私たちのためではありません。それは、私たちについてではありません。私たちがするべきなのは、周りで起こっている事を見て、今、準備をすることです。御父の仕事をし、福音を宣べ伝え、良い知らせを宣べ伝えて、一人でも多くの人を主のみもとに連れてくること。そして、城壁の見張り番になり、御父の仕事のビジネスマンになり、そして、もちろんキリストの大使となって、将来の支配者になるのです。それが、今、私たちがしなければならないことです。我々に必要なのは…。今、ネット上には、非常に多くの詐欺やデマが世界中から溢れています。それは、私たちを最も重要な事から遠ざけてしまいます。もちろん、主との関係を正す事、そして、人々を主のもとへ導くこと。これが、この終わりの日に、最も重要なことです。だから今、どこかで私たちをご覧になっているなら、神は今、あなたに語りかけておられるのです。あなたは、主との関係を正さなければなりません。携挙が迫っています。数分後に、それが起こることもあるのです。中東には、役者が全員集合しています。すべてが整っています。我々の目は、ダマスカスに向けられており、ダマスカスは、明日にも破壊されるかもしれません。私たちには分かりません。私が言いたいのは、準備をしなければなりません。その日、その時は誰にも分かりません。それは良い事です。そのため、常に準備をしますから。悪行を悔い改めなさい。イエスに、あなたの心の中に入ってください、人生を支配して下さるように求めましょう。そして今、自分の罪を告白して悔い改めた後、聖霊を受けています。主に、あなたの心の中に入って頂き、あなたは新しい人生を手に入れ、あなたの人生のすべてが今、新しいものになり始めます。新しい心、新しい霊、新しい思考、新しい人生をいただいて、あなたは新しい創造物です。後で新しいからだをいただけます。その後、あなたは新しいエルサレム、新天新地、全てが新しくなる場所に行きます。しかし、これを楽しむには、悔い改めから始まります。悔い改めは、イエスの公生涯で御口から出た、最初のみことばです。だから私は皆さん全員に、希望を失わないように励ましたいと思います。強くあれ、神のみことばに目を向け、準備をしてください。

お父様、あなたのみことばに感謝します。それは両刃の剣よりも鋭いものです。そして、この瞬間、それは複数の人々に、自分の人生や状況を語りかけていることを知っています。お父様、私は義の光が輝き、彼らが自分の人生で暗いものすべてを見ることができ、彼らが悔い改めるように祈ります。彼らが、すべてをあなたにゆだね、赦しを求め、メシアを自分の主であり救い主として招き、新しい心、新しい霊、新しい思考を持った新しい被造物となるのです。ありがとうございます。

God bless you.

主があなたを祝福しあなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。(民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福しあなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。(民数記6:24~26 英語)

すべての理解を超え、平和の君からしか得られない平和。いつでもどこでも、永遠に、あなたに、平和を与えることができるお方。主の御名、イエシュアの御名によってお祈りします。
アーメン。

The Last Hourと、The Day Approachingの購入ご希望の方は、BeholdIsrael.orgで入手できます。
Facebookも、YouTubeも、Twitterも同じように私を検閲し始めました。それで、もうすぐ私はそこにいなくなるので、すべてを入手したい場合は、ニュースレターにご登録ください。www.beholdisrael.orgからニュースレターをご登録できます。私たちがいる限り、ソーシャルメディアでフォローしてください。
BeholdIsrael.

ありがとう、God bless you.
イスラエル、ガリラヤからシャローム。
さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>
ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.08.15 (Sat)
